

コスモス学級開講式

4月19日（火）、三加和公民館で平成28年度のコスモス学級が始まりました。

コスモス学級とは、生涯学習を通じて明るく楽しく学び、健康な体と心を作ることを目的とした公民館講座で、毎月1回料理実習や手芸などの活動のほか、11月には1泊2日の修学旅行などが計画されています。開講式では、学級生全員で元気に「コスモス学級の歌」を歌い、今年1年も楽しみながら学んでいくことを誓いました。

また、当日は、講師として、役場本庁健康福祉課の佐藤美由紀保健師が生活習慣病に関する講演を行いました。和水町が現在抱えている健康課題や食生活にまつわる話を中心に紹介し、学級生は講師の話に熱心に耳を傾けていました。

コスモス学級は、いつでも学級生を募集していますので、興味のある人はぜひご参加ください。

問い合わせ先 三加和公民館内
社会教育課 社会教育係 ☎0968・34・3047



講師の話に耳を傾ける参加者

里山美術展が開催されました

5月1日（日）～5日（木）の5日間、肥後民家村で里山美術展が開催されました。今年で14回目を迎えた里山美術展は、里山楽縁企画が主催しており、さまざまな作家の芸術作品を鑑賞したり、手すき和紙、万華鏡、ガラス工芸を実際に体験したりすることができるイベントです。

特に最終日の5日（木）には、宇土を中心に活動している太鼓芸能集団「結衣」による太鼓パフォーマンスや造形作家岩田恒介さんによるトークショーなどが行われました。また、シンガーソングライターの関島秀樹さんが急遽駆けつけ、チャリティコンサートを開催。大勢の来場者の前で熱唱しました。

里山美術展に訪れた小山春香さん（熊本市南区）は、「地震があつて疲れていたなか、里山美術展のアートに触れてとても心が癒されました。」と話していました。

また、会場内には、多くの場所に募金箱を設置し、熊本地震復興義援金を募りました。その結果、79,100円の義援金が集まり、後日、主催者が日本赤十字社に全額寄付をしました。皆さんの温かい支援本当にありがとうございました。



熱唱するシンガーソングライターの関島秀樹さん

DAILY LIFE vol.1が開催されました

5月8日（日）、肥後民家村NameLess周辺で「DAILY LIFE vol.1」というイベントが開催されました。

このイベントは、熊本地震の影響で多くのイベントが自粛するなか、「ゴールデンウィーク気分を少しでも味わってもらい、地震前の日常生活を思い出して息抜きをしてほしい。」と熊本市でカフェを営んでいる加生亮さんが企画。3月の移住・定住関連のイベント「いじゅうライダー」で初めて肥後民家村を訪れた際に、豊かな自然に惹かれ、この場所でイベントをすることを決意。当日は、来場者がパンやコーヒーなどを飲みながら、くつろぐ姿が印象的でした。

加生さんは、「来場者に息抜きが出来たので良かったと言ってもらえてとても嬉しかった。またこの場所でイベントを行いたい。」と次のイベント開催に意欲を示していました。



当日は多くの来場者でにぎわいました

三加和中学校で堆肥作り体験

2月24日（水）、三加和中学校の生徒が、和水町産の竹を粉状にした竹パウダーと生ごみを混ぜて作る堆肥作り体験を行いました。伐採した竹を有効利用するとともに、生徒に地域の環境保全やリサイクルに対して関心を持ってもらおうと、町商工会青年部が企画しました。

当日は、青年部の皆さんが竹パウダーについての概要や堆肥作りの意義などを説明した後、作業を開始。生徒62人が班に分かれて、5キロの生ごみと1キロの竹パウダーを計り、生ごみの臭いと戦いながら、みんなで一生懸命混ぜていました。

作られた堆肥は、花壇などの肥料として使う予定です。



竹パウダーと生ごみを混ぜる生徒

第11回 花の香酒蔵祭りが開催されました

4月10日（日）、田中城跡前の歴史と文化のふれあい広場で「第11回花の香なごみの会酒蔵祭り」が開催されました。この祭りは、花の香酒造「なごみの会実行委員会」が企画したイベントで秋から仕込んで出来た新酒の披露を目的として、毎年行われています。ステージでは、アコースティックライブ、漫才、琉球太鼓ライブなど多くのイベントが行われ、来場者を魅了。また、ステージ外では多くの屋台が並び、来場者の胃袋を満たしたほか、花の香酒造の酒蔵が見学できるイベント、当日の朝しぼり純米大吟醸の限定販売もありました。

イベントの最後には、お楽しみ抽選会が行われ、1日中盛り上がるイベントでした。



酒蔵祭りの様子

春の交通安全キャンペーンを行いました

4月12日（火）、三加和温泉駐車場で春の交通安全キャンペーンを行いました。これは春の全国交通安全運動の一環として、毎年行っているものです。

キャンペーンでは、神尾保育園の園児がドライバーに交通安全グッズを手渡し、安全運転を呼びかけました。

また、玉名警察署、和水町老人クラブ連合会、和水町交通安全母の会、玉名地区交通安全協会、玉名地域交通安全推進委員、和水町交通指導隊と、多数で協力いただきました。

日ごろから交通安全を心がけ、交通事故ゼロを目指しましょう。



ドライバーに元気に声を掛ける園児